2026 年 11 月 24 日

各　位

マニー株式会社
取締役兼代表執行役社長　渡部 眞也

歯列矯正に使用する IPR ダイヤモンドバーのラインアップを拡充
治療計画に沿った、より正確な IPR への貢献を目指して

マニー株式会社（以下、マニー）は、歯列矯正において歯と歯の間のエナメル質を削合する処置「IPR（Interproximal Reduction）」に使用するダイヤモンドバーの新製品「IPR-02EF」「IPR-03EF」を、2026 年 11 月より国内にて発売いたします。

今回の新製品発売により、既存の「IPR-01EF」と合わせて 3 製品にラインアップを拡充します。削除量や歯の形態、処置部位などに応じた選択肢を揃え、IPR における器具選択の幅を広げます。



製品情報

販売名	マニーダイヤバー
一般的名称	歯科用ダイヤモンドバー
医療機器届出番号	09B1X00006002010

治療概要

IPR（Interproximal Reduction）は、歯と歯の間のエナメル質を削合し、歯を移動させるためのスペースを確保する処置です。アライナー矯正治療をはじめとする歯列矯正において行われています。IPR で必要とされる削除量や、処置する歯の大きさ・形態、コンタクト部までの距離は症例によって異なります。そのため、処置する部位や目的に応じた器具の選択が重要となります。

開発背景－IPR における器具選択のニーズ

マニーはこれまで、先端径 0.19mm の「IPR-01EF」を展開してきました。IPR-01EF は、削除量を抑えたい場合や、削除量の指示が少ない場合を想定した設計です。

一方、歯科医師へのヒアリングを通じて、約 0.3mm の均一な幅での形成や、歯冠長が長い歯、コンタクトが長い部位への使用など、既存製品とは異なる形状やサイズが求められる場面があることが分かりました。こうしたニーズを踏まえ、マニーは新たに「IPR-02EF」「IPR-03EF」を開発しました。既存の「IPR-01EF」と合わせ、削除量や処置部位に応じて選択できる 3 製品のラインアップとしています。

本製品の特徴

・IPR-01EF［既存品］

先端径 0.19mm のマニー最細の IPR バー。削除量を抑えたい場合や、削除量の指示が少ない場合を想定した形状。

・IPR-02EF［新製品］

先端から 3mm までの部分はテーパーを抑え、約 0.3mm の均一な幅での形成を想定した設計。作業部長は 5.5mm で、側切歯から小臼歯までの使用を想定。

・IPR-03EF［新製品］

先端径 0.29mm、作業部長 8.0mm の形状。0.3～0.4mm の IPR や、歯冠長が長い歯、コンタクトが長い部位での使用を想定。

3 製品を削除量や歯冠・コンタクトまでの距離などに応じて選択できるラインアップとすることで、IPR における器具選択の幅を広げます。

発売地域・時期

本製品は、2026 年 11 月より日本国内にて発売いたします。その他の国・地域についても、順次グローバルに展開を予定しています。

マニーは、世界中の皆さまの健康な歯と笑顔を守るため、今後も歯科医療現場のニーズを捉えた製品開発を通じて、歯科医療の発展に貢献してまいります。

以　上

免責事項：
本ニュースリリースは、当社の企業活動をステークホルダーの皆様にお伝えするためのものです。医療機器の情報が含まれることがありますが、これらは報道関係者、株主・投資家等の皆様を対象にした情報であり、顧客誘引や医学的アドバイスを目的とするものではありません。